

簡易不活性ガス循環精製装置

GBJPWN0

取扱説明書

ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。



株式会社グローブボックス・ジャパン



1 概要

1.1 はじめに

この度は弊社製不活性ガス循環精製装置をお買い上げ頂きありがとうございます。本品をご使用頂く前に必ず本取扱説明書をお読みのうえ正しくお使い下さい。

1.2 概略説明

本装置は、グローブボックス本体と接続し、循環精製運転することにより、グローブボックス本体内の不活性ガスおよびボックス内から発生する水分を吸着剤により除去します。吸着剤カラムは2塔直列に用意されていますので、前段に活性炭、後段にモレキュラーシーブスという様な構成で使用する事も出来ます。また吸着剤は交換可能です。

1.3 特徴

- ・ 電源電圧 AC100V±10% 最大 1A コンセント電源で使用出来ます。
- ・ 吸着剤の交換が簡単に行えます。
- ・ ポンプ取付台には免振機構が標準装備の為振動が抑えられています。
- ・ 冷却水を必要としません。

1.4 詳細仕様

	GBJPWN0
	脱水分
横幅	302mm
奥行き	300mm
高さ	410mm
概算重量	12kg
循環ポンプ数	1
循環ガス流量	20L/min
電源電圧	AC100V 1A
酸素除去	×
酸素除去能力	×
酸素除去剤	×
水分除去	○
水分除去能力	39ppm (-50°Ctd) *1
水分除去剤	モレキュラーシーブス 13X
吸着剤再生	不可
冷却水	不要
異常圧力監視	×

*1 弊社製グローブボックス GBJV080 と接続の場合、保証値ではありません。

○は標準装備 ×は対応不可

1.5 保証

1.5.1 保証期間

据付日より1年間と致します。

1.5.2 保証内容

保証期間内に当社の責により生じた故障は、その修理または部品交換を無償で行います。

1.5.3 保証除外事項



下記に該当する故障は保証対象から除外させていただきます。

- ・ 不適切な条件、環境、お取扱い、使用方法に起因した故障。
- ・ 当社または当社指定会社以外で修理や改造を行った事に起因した故障。
- ・ 火災、地震、天災等による故障。
- ・ 据付後の移動、輸送による故障。
- ・ 消耗品およびそれに準ずる部品。

1.5.4 損害等について


弊社製品の故障に起因する御客様での損害、二次損失等いかなる損失についても保証の対象外とさせていただきます。

1.6 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。	
安全上の警告、注意事項を「警告」と「注意」にわけて記載しています。	
 警告	使用者が死亡および重度の傷害を負う可能性がある場合。
 注意	使用者が傷害を負う可能性および物的損害を生じる場合。

- ・ 目的以外の使用はお避け下さい。
- ・ 警告・注意事項をお守り下さい。
- ・ 本取扱説明書は、お使いになる方がいつでも参照可能な場所に保管して下さい。
- ・ 改造・分解はしないで下さい。
- ・ 部品の交換は弊社標準部品を必ずご使用下さい。

1.7 アイデア


 TIPS	ちょっとしたアイデアをお知らせします。
--	---------------------

2 設置

2.1 ユーティリティ


2.1.1 電源電圧


形状 コンセント
AC100V±10% 容量は詳細仕様を参照下さい。

 警告	電源電圧は AC100V±10% です。 範囲外で使用されますと、火災、感電、故障等の原因となります。
--	--

2.1.2 循環ガス

接続口 1/4 インチ SWAGELOK タイプ継手
グローブボックス本体からの供給となります。

 警告	ガスボンベを使用の際は転倒しない様、ボンベスタンド等をアンカーボルト等で固定して下さい。
--	--

 警告	ガスボンベへのレギュレータ着脱には危険が伴います。十分に注意のうえ、着脱を行って下さい。
--	--


2.2 設置場所

- ・ 本装置を水平で安定性のある場所に設置して下さい。
- ・ メンテナンススペースを確保して下さい(周囲 50cm 以上)。
- ・ 室内専用 温度 5~30℃ 湿度 20~80%(結露なきこと)

2.3 接続


2.3.1 電源接続


- ・ 電源をコンセントに接続して下さい。


 警告	濡れた手で電気配線は絶対に行わないで下さい。
--	------------------------

2.3.2 循環ガスライン接続

- ・ GAS IN と GAS OUT をグローブボックス本体の循環口に接続して下さい。
- ・ 配管サイズは 1/4 インチ以上を推奨します。
- ・ グローブボックス本体の循環口には必ずバルブを取り付けて下さい。

 警告	腐食性ガス、有毒ガス、可燃性ガス、および放射性物質を含む有害物質等の循環精製は出来ません。
--	---

 警告	循環ガスラインの接続作業は、漏れが生じない様に確実に行って下さい。
--	-----------------------------------

 <p>TIPS</p>	<p>グローブボックス本体の循環口は対角に設置すると置換効率が良くなります。</p>
---	--

3 操作

本装置を操作する場合は、以下の手順に従って操作して下さい。

3.1 操作前確認および運転時確認


本装置を操作する前に点検作業として以下の確認を必ず行って下さい。

- ・ 電源電圧 AC100V±10%

3.2 循環精製運転操作手順

循環精製運転を行う前に、グローブボックス本体を十分にガス置換して下さい。

3.2.1 グローブボックス本体を十分にガス置換して下さい。

 <p>注意</p>	<p>グローブボックス本体を十分にガス置換しないで循環精製運転を行った場合は水分を低濃度まで除去することは出来ません。</p>
---	---


3.2.2 グローブボックス本体の循環バルブ 2 個を徐々に開けて下さい。

- ・ 異常が見られた場合はすぐにバルブを閉めて下さい。

3.2.3 循環ポンプ ON/OFF スイッチを ON にして下さい。

- ・ 異常が見られた場合はすぐにスイッチを OFF にして下さい。

3.2.4 異常がなければ、このまま循環精製運転を継続して下さい。

 <p>注意</p>	<p>循環精製装置は連続運転を前提に作られております。数時間単位の循環精製運転では性能が出ない場合があります。</p>
---	---

3.3 循環精製運転停止操作手順

3.3.1 循環ポンプ ON/OFF スイッチを OFF にして下さい。

3.3.2 グローブボックス本体の循環バルブ 2 個を閉めて下さい。

4 運転停止

何らかの理由により、本装置を長期間停止しておく場合は、以下の手順に従って操作して下さい。

- ・ 循環ポンプ ON/OFF スイッチを OFF にして下さい。
- ・ コンセントを取り外して下さい。

5 触媒交換手順

精製処理能力が落ちてきたら触媒を交換して下さい。

- ・ 触媒塔上部のフランジ 2 か所を外します。
- ・ 古い触媒を捨てて下さい(廃棄は各自治体の指示に従って下さい)。
- ・ 新しい触媒を同量入れます。
- ・ フランジを元に戻し、確実に閉めて下さい。

6 消耗部品

品名	備考
吸着剤	モレキュラーシーブス 13X
循環ポンプ	MX-808W
循環ポンプ用ダイヤフラム	2 枚 1 組

注)ダイヤフラムの交換はメーカーでの対応となります。

状況によってはダイヤフラム交換が出来ずに、ポンプごと交換が必要な場合があります。

7 問い合わせ先

株式会社グローブボックス・ジャパン
206-0804 東京都稲城市百村 1188
T. 042-379-9624(代表)
F. 042-379-9627
www.gb.jp/